

タイエンダー下塗ストロングH-R

1. 一般名 超厚膜形高遮断エポキシ樹脂塗料 強溶剤形シルバータイプ
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) アルミ顔料の塗膜内配向により極めて高い環境遮断性を示し、超長期にわたって塗膜下鋼材を保護する。
 - 2) 複数の無公害特殊防錆顔料の効果により、重塩害環境下において非常にすぐれた耐食性を発揮する。
 - 3) 速乾性にすぐれ、特に低温環境下における施工効率向上に寄与する。
 - 4) 優れた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、新設塗装に限らず塗替塗装にも適している。
 - 5) 1回塗りで300 μ mまでの厚膜が得られ、塗装作業性にもすぐれる。
 - 6) NETIS登録番号：CG-210013-A

4. 塗料性状

項目	内容							
容姿	2液性							
荷姿	20kg \times 20 (主剤：16kg、硬化剤：4kg)							
色相	シルバーグレー、シルバーホワイト							
密度 (23°C)	塗料	1.29 (シルバーグレー)						
	揮発分	0.86						
加熱残分	80% (シルバーグレー)							
乾燥時間	温度	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	24時間	12時間	6時間	5時間	4時間	3時間	1時間
	半硬化	36時間	24時間	16時間	12時間	8時間	5時間	2時間
標準膜厚	150 μ m、300 μ m							
引火点	SDS参照							
発火点	SDS参照							
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照							

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
乾燥時間の評価方法は JIS K5600-1-1 に準ずる。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・塩分・金属酸化物、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- (2) 低温環境下においては、被塗面に結露・結氷を生じやすく、塗膜の付着性が損なわれる原因となる。露点管理を実施するなど被塗面の状態を確認した上で塗装作業を行うこと。
- (3) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合割合を間違えた場合、塗膜性能の低下や成膜不良を生じる。
- (4) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきる。
- (5) 主剤粘度は低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで塗料が流動し、取り扱いし易くなる。
- (6) 本塗料は厚膜塗装用塗料である。過度な希釈を避け、適宜ウェット膜厚を確認しながら所定膜厚にて塗装すること。
- (7) 規定の塗装間隔範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨した上で表面を清浄にしてから塗り重ねを行うこと。
- (8) 希釈にはエポニックスシンナーB、または同夏型を使用すること。
- (9) 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックスシンナーB、または同夏型で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料はこれらのシンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合はラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

5. 塗装基準

項目	内容							
下地処理	ISO-St3 (SSPC-SP3) 以上							
調合法	主剤：80部、硬化剤：20部 (重量比)							
可使時間	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
	10時間	8時間	6時間	6時間	5時間	2時間	1時間	
温度・湿度制限	気温：-5°C未満、湿度：85%RH以上 但し被塗物表面に結露・結氷が無いこと							
使用シンナー	エポニックスシンナーB、又は同夏型							
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー塗装			エアレス塗装			
	希釈率	0~5%			0~20%			
	標準使用量	0.36 kg/m ²			0.94 kg/m ²			
	標準膜厚	150 μ m			300 μ m			
ウェット管理膜厚	225 μ m			500 μ m				
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4 kg/cm ²) 以上							
	2次圧 12MPa (120 kg/cm ²) 以上 チップNo.163-417~625							
塗装間隔	温度	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	36時間	36時間	24時間	24時間	12時間	12時間
	最大	10日	10日	10日	10日	10日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法規

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。